

一般質問



○国保減免不承認事件の控訴について ○議会の審議権、議決権に対する考え方

佐々木章 議員

国保減免不承認事件の控訴について

質問 5月12日の臨時議会の議決をもって

仙台高裁に控訴したと思うが、その後どんな風な形で推移しているのか。またこの控訴審について市側ではどのような見通しをもっているのか。

答弁 5月12日付で仙台高等裁判所秋田支部に控訴状を提出した。控訴状には、理由はおって準備書面を提出することになっている。7月1日まで提出を求められているという状況です。見通しについては、控訴理由書提出後、審理が始まると思っている。

命を守るための財源負担の公平性や免税取扱要領が恣意的判断を抑制する基準であることなど主張していきたい。

質問 5月補正で11万7千円、今回6月補正で10万円の訴訟費用の補正をしたが、今後どの程度の裁判費用を見込んでいるのか。そして仮に敗訴という形になった時、当局はどう対応するののか。

答弁 裁判費用については、判決の内容で大きく変わってくる現在のところ、そこに言及する事は出来ないと思っ



一般質問に答える門脇市長

敗訴の理由等により対応することになるので現段階では何ともいえない。

質問 裁判所の判断基準というものは、法に抵触するかどうかが大

きい要素になる、行政として執行したことが合法でない、棄却、却下され裁判が長引くことにより実害が出てくる場合もある。それを市民の血税をもって賄うべきではないと思う。この訴訟に関

わる責任のあり方、これを十分に意識してやっていただきたいと思うが。

答弁 今回の国保の案件というのは、全国的にも大変注目を受けている案件であり、国保というシステム自体の持続性、安定性がどう図られるのか、法的な裏付けの元に明らかにしたいと思う。国保会計を守るとすれば、今回の事案はきつちりと議論していかなければならないと思っ

たのか、議会の審議権、議決権、そして当局の執行権、これはお互いに侵してはならないものであるが、今回の専決処分についての根拠を伺う。

質問 今回の専決処分は、地方自治法に基づいた専決処分であ



控訴審が行われる仙台高等裁判所秋田支部

質問 議会の会派について、議案の概要あるいは予算の説明等、

改選で会派の構成も変わった中で、本議会から補正予算の概要についても説明をしていきたいと思っ

たのか、議会の審議権、議決権、そして当局の執行権、これはお互いに侵してはならないものであるが、今回の専決処分についての根拠を伺う。

改選で会派の構成も変わった中で、本議会から補正予算の概要についても説明をしていきたいと思っ

たのか、議会の審議権、議決権、そして当局の執行権、これはお互いに侵してはならないものであるが、今回の専決処分についての根拠を伺う。

改選で会派の構成も変わった中で、本議会から補正予算の概要についても説明をしていきたいと思っ

一般質問



○高齢者の足の確保を急げ！
○弱者に暖かい手を

稲田 修 議員

急げ 高齢者の足の確保を

質問 市長の選挙公約にもあったが年々高齢化が進む中で高齢者の足の確保は重大な問題であり、多くの地域住民から要望を受け切実に感じている。市長として今後の対応と決意の程を伺いたい。

答弁 交通の確保についてはは高齢者の生活実態の調査を行い現状を精査し一番効果的な政策を組みたいので、結果を見ながら今後政策を立て取りくみたい。

除雪対策については、きめ細かな市民生活の安定を図るためにも、地域住民との協力を深め、共に手を携え街づくりを進んでいきたい。地域運営体の活動に注目しているところでありこれを各地域に広めていただきた

質問 少子化対策・定住人口を確保するためにも、遊休市有地を無償で有効活用するとか思いきった少子化対策を打つべきと考えるがどうか。



交通弱者に対する足の確保を

また保育所の待機児童の問題もすぐには解決できないものもあるかもしれないが、お母さん方の期待に添えていただくことができないか。

答弁 少子化対策は所得対策であり、雇用対策であると考えている。

いま、公有財産や遊休施設を活用し、新たに創業や起業したい方々に活

用できるか研究させている。

質問 保育所の待機児童の問題は、施設のハードの問題もあるがマンパワーの確保問題が大きいので最優先していきたい。現在も保育士の募集をしているところである。

民間の空き家を活用した定住対策も行っており19年度からの実績で61人

となっている。

田沢湖病院の救急再開を

質問 田沢湖病院の救急再開は大変厳しい状況で一朝一夕に解決できない問題と理解はしているが市民の期待は大きい。救急特区とかで対応できるよう研究してみてもどうか。

答弁 マニフェストにも書いてある通り前期2年は地域医療再生に最大限取り組みさせていきたい。

いま医療局を設置し、医療に携わる方々の総力

を結集し、市民の力添えもいただきながら新しいシステムを構築しようとして取り組んでいる。

質問 医療特区については研究し、関係機関と協議したが対応不可との回答をいただいている。救急特区ということは考えていなかったが、大変興味のある話だと思う。詳しくお話を伺いたい。

救急再開は大変重要な最大の自分に課せられた課題だと思っている。汗を流しながら全国を走り回って医師・看護師確保を図りたい。



救急医療体制の再開が待たれる田沢湖病院

一般質問



○桜まつりについて ○財政の健全化について

八柳良太郎議員

桜まつりについて

質問 今年の桜まつりは観光客数が156万1千人と史上2番目の多さを記録した。期間終了後の実行委員会で経済効果も含めてどのような意見があったのか。

答弁 桜まつり期間中の経済効果について秋田経済研究所に依頼したところ仙北市の観光消費額は105億1,539万円で、秋田県経済に168億円の波及効果があり、県全体の6割以上の消費額が仙北市で発生したとの報告があった。

会議の中で国交省、県、県警と連絡をとり来年に向けた渋滞対策会議の要請があり開催することになっている。

質問 市民参加の取り組みとして誘導案内、交通整理には地理の分かる地元の人やNPOの団体にボランティアとしてお願いできないか。

答弁 平成16年より仙北建設業組合から毎年60名ほどのボラン

ティアの参加があり誘導、案内等をしていただいている。

今後は地理に詳しい市民に参加を呼びかけ盛り上げていただきたい。

質問 交通整理関係で警備委託料が支払われているが、市内のNPO法人等に委託して市民がその業務に当たることは出来ないのか。

答弁 警察からの指導もあり資格を持った方々をお願いしている。

質問 市と民間の駐車場で連携をとり、出来るだけ早く駐車場に入れるよう官民一体の体制をとるべきと思うがどうか。

また、駐車場係りの対応にクレームもあったようだが、係員の講習等はどうなっているのか。

答弁 民間の駐車場に一助になっていると思う。観光案内等も積極的に参加していることから官民一体と言っても差し支えないものと思っております。

係員の教育は緊急雇用

で採用した18人については職員が行っている。

質問 土産店の呼び込みにが非常に激しいからあったようだが、行政として考えがあれば聞きたい。

答弁 指導等については再三にわたり観光課、または観光協会と業者で話し合いを持ち、お互い協力していくことで確認をしているが、通常の期間でもそのような話を聞くことがある。

必要ということであれば市独自の禁止条例も視野に入れ研究を進める。

財政の健全化について

質問 21年度決算収納率は前年同期比で幾分プラスになり、関係部署の頑張りが見える。

昨年から「財政健全化に関する法律」が施行され、実質赤字や外郭団体を含めた実質的将来負担等の指標と公営企業ごとの資金不足率を公表することになったが、21年度指標について感想と今後の見通しはどうか。

答弁 連結実質赤字比率及び連結実質赤字比率とも実質収支等黒字の見込みであり、公営企業資金不足比率についても不足は生じない見込み。また、将来負担比率についても20年度を下回るものと見込んでいます。

事業特別会計は歳入の多くを一般会計に依存しており、一層の経費削減・節減を図り連結実質赤字比率及び資金不足比率の改善に努める。

起債制限比率は普通交付税の伸び等により前年度に引き続き改善されるものと思っております。

多額の収入未済額について

質問 20年度の収入未済額は市税、国保税合わせて7億7千万円と巨額になっている。収納対策室ではどのような対策をしているのか。

答弁 収納対策室は効率的な収納及び滞納整理体制が使命の一つである。

具体的には従来の臨戸徴収、電話催告、徴収嘱託員による徴収はもちろ

ん、預託金、を含む財産調査等に基づき滞納整理の方向づけを明確にして着実に履行する。

納付が遅れがちな納税者に対し早目の納税相談を行う。

預貯金、給与等、確定申告の還付金の差し押さえも行っていきます。

県の地方税滞納整理機構に職員一人を派遣し、県と市が連携しながら滞納整理を行っており、その成果を期待している。

このほか、夜間納税窓口や口座振替納税の普及等、納税者が納税しやすい環境づくりについても検討を進めていきたい。



多くの観光客でにぎわう桜祭り

一般質問



○クリオン温泉プールについて ○市立西明寺中学校、松木内中学校、両校の統合について

伊藤 邦彦 議員

質問 旧角館町国保交付金
過大受給について

2003年度と2004年度に国保普通調整交付金約1千559万円を国から過大受給していたとし、国からの請求により加算金を含め約2千311万円を今年3月、国保特別会計から返還し、現在副市長を委員長とする調査委員会で調査中との報告を受けている。

質問 この問題はなぜ起きたのか、その原因を明確にし、加算金を誰がどのような形で精算するのか、多くの市民はこのことに対して行政に不安と不満を抱いている。市民に負担をかけない形で早期解決を図り、市民の信頼を取り戻すべく今日までの調査とその方向性を伺う。

答弁 国保調整交付金調査委員会を設置し、4月22日に第1回委員会を開催し、調査を進めている。10月中を目途に調査を終了したい。原因、加算金については、顧問弁護士の法的な助言

を受けながら、解明に向けて調査をしている同委員会になるものと考え、結果に基づき必要な対応をしたいと考える。市民に与えた不安と不信については、重ねてお詫び申し上げます。尚、調査委員会で、事情聴取、現地調査を行っている。

を受けながら、解明に向けて調査をしている同委員会になるものと考え、結果に基づき必要な対応をしたいと考える。市民に与えた不安と不信については、重ねてお詫び申し上げます。尚、調査委員会で、事情聴取、現地調査を行っている。

質問 仙北市住民の大きな夢、希望である温水プール。しかし、建設の声は微動だに聞こえない。プールは、市民はもとより大仙地区を含めた小中校生の競技力の向上、住民の健康増進にと幅広く活用される施設と考える。建設促進に向けての是非を当局に伺う。

答弁 市民プールの役割や位置づけを明確化しながら、本年度の早い時期に実現の方向性を示したい。現在、庁内関連部署による会議を立ち上げ、整備のための財源、温水を確保するための熱源等の調達方法を調

査検討し、整備実現に向けて勤めている。
市立西明寺中学校、松木内中学校、両校の統合について

質問 合併前、両校を平成22年から23年までに統合するとして事を記憶する。統合により学校がなくなる地域の寂しさは計り知れないと理解するが、生徒達の今、そして将来を思えば、万感を排し統合を進めるべきと思うが当局の初見を伺う。

答弁 そう言う経緯は確かにあった。生徒数の減少傾向を見通しているが、具体的に統合に向けたスケジュール等を作成するまでには至っていない。現在のところ、両校が存続できる為の取り組みが必要ではないかと思っている。

質問 合併初期に議案として上程され可決されてから5年経つ。当時の当局の計画あるいは議会の判断がどうであったのか、確認のため伺う。



新設が待たれる温水プール



統合が質問された両校

答弁 駅東地区の良好な生活環境整備による定住化促進を目的とし、臨機応変な活用をする場として整備をしている。東側からのアクセスを検討することになっているが、J・R東日本秋田支店からも整備についての提言を頂いている。今後も協議を継続していきたい。

一般質問



○全国鳴き砂サミットの誘致について ○中小企業振興条例について

田口寿宜 議員

全国鳴き砂サミットの誘致について

質問 昔、田沢湖の白浜は、歩くとキュツキュツと鳴る白くて綺麗な鳴き砂の浜だった。

その鳴き砂の浜が生活排水等が湖に入り込んだり様々の要因で鳴かなくなつてから何十年もの年月が過ぎようとしていく。そのような中で田沢湖を生きた湖に戻そうと多くの方々が活動を展開している。

そこで私は、全国鳴き砂サミットを近い将来にこの地に招致すべきでないかと考えるものであります。

このサミットは財団法人ナショナルトラストの呼びかけで1995年、発足し、現在17団体が加入し、各地で総会やシンポジウムを開催していると聞いている。

環境の再生による地域活性化を目指し全国鳴き砂サミットの招致についてそしてこれからの田沢湖の姿について市長の考えを伺う。

答弁 田沢湖畔の白浜一帯は、かつて鳴

き砂でありこの鳴き砂は美しい自然環境のバロメーターとも言われている。しかし湖に玉川の強酸性水や生活排水が流れ込み、さらに塵埃が混入し、汚れがひどくなり、自然保護団体が浜の復旧に乗り出してきたことや、平成4年から実施された特定環境保全公共下水道事業等より大分改善されてきているものの再生には未だほど遠い状況であると認識をしている。私も早期の白浜の再生には全国鳴き砂サミットを招致することは鳴き

砂再生の有効な手段と考える。

待機児童の解消について

質問 未満児、特に0歳から2歳児の待機児童が生保内や角館に多いのでこの状況を打破しなければならぬと考えている。

当面、この解決策として市民の協力を得ながら保育園に入園できるまで空き施設等を利用し未満児の待機児童の保育を行う方法が出来ないかかろう。



よみがえれ田沢湖の鳴き砂

答弁 ご指摘の通り未満児用の保育施設は建設当時に現在のよう

な需要を予測できなかったために受け入れ可能な絶対数に限界がある。当市では児童の詰め込みにならないように面積基準の範囲内で入所受け入れを行っている。4月から新卒保育士12名を臨時職員として採用し、さらに再募集するつもりである。

空き施設を使つてのご提案は分園という形での可能性はある。

質問 文科科学省で実施してきた「学校支援地域本部事業」は市民による学習、部活動、安全環境、行事伝統芸能等の支援で地域の学校応援的存在の大切な事業と思つている。ただこの事業は本年度で終わりで、来年度からは補助事業となり、せつかくの良い事業がトーンダウンする可能性がある。そこで仙北市独自の学校支援地域本部事業を展開できないか教育長の考えを伺う。

学校支援地域本部事業と似た事業で仙北市に学校バックアップ事業があり、この事業を継続させようと思つている。

答弁 当市の小規模事業者を含む商工業者が年々減少し、又経営においても大変厳しい状況にある。そうした中で中小企業基本条例の制定の意義は大変大きいものであり、これを契機に諸問題を解決しながら所得向上を含む地域活性化に向けて取り組んでいくべきと思つますが市長の考えを伺う。

答弁 中小企業振興基本条例の制定については所得10%アップのアクションプランの一つとしてマニフェストに取り組むことを明記している。

本条例制定意義は市民全ての地域振興に対し共通認識を持つこと。この条例を元に具体的な政策をどう立案するかが必要でありそれによつて持続的に所得や地域活力を上げることが最終目標である。